



大宮アルディージャの グローバル推進活動「アジアの笑顔」

大宮アルディージャ事業本部 グローバル推進マネージャー 秋元 利幸

皆さま、はじめまして！ 埼玉県さいたま市にあるJリーグのクラブ、大宮アルディージャでグローバル推進マネージャーをしております、秋元利幸です。

Jリーグのクラブと聞けば、「プロのサッカーチーム」を想像されることでしょうか。もちろん、それも正しいのですが、実はサッカーの試合以外にもさまざまな事業を行っており、埼玉県内やさいたま市内にとどまらず、世界を舞台にグローバルな活動も展開中です。

グローバルな活動は「アジアの子どもたちに笑顔を届ける」を合言葉に、2014年にスタートしました。東南アジア8か国でのサッカー教室などのイベントは、延べ6,000人以上の方にご参加いただいております。この活動はJICA、国際交流基金、JETRO、埼玉県などさまざまな機関、行政のサポートや、我々のパートナー企業のサポートによって成り立っています。

具体的には、ラオスのオリンピック代表チームの指導、カンボジアやミャンマーの孤児院でのサッカー交流を行っております。ベトナムでは、普段は外国人が入れない地域の子どもたち、枯葉剤の影響を受けて障害を持った子どもたち、ブータンでは袈裟を着た僧侶学校の子ども

たちにもサッカー教室を行いました。

また、ラオスの首相をはじめ、各国の要人とも交流させていただくなど、幅広いネットワークを構築できております。

我々がアジア各国で活動する理由は、大きく分けて3つ挙げられます。1つ目は、アジアの子どもたちにサッカーの素晴らしさを伝え、「笑顔」になってもらうこと。2つ目は、サッカーが大好きな国民の多いアジア各国でのネットワークを築き上げ、スポンサーや行政など大宮アルディージャを支える方々に還元すること。3つ目は、クラブの価値を向上させることです。

我々には、「スポーツを通じて夢と感動をわかち合える、より良い地域社会の実現に貢献します」というクラブ理念があります。また、Jリーグの理念の一つにも「国際社会における交流および親善への貢献」があります。大宮アルディージャ、そしてJリーグの双方が掲げる理念を常に意識し続けることで、我々が展開しているグローバルな活動が、各地域の国際化に大きく貢献することにつながると考えております。

最後になりますが、我々が皆さまのアジアや世界へのプラットフォームになり、最終的に「サッカーを通じた地域の国際化」につながるように、今後も取り組んでまいります。

プロフィール

秋元 利幸 (あきもと としゆき)
大宮アルディージャ事業本部 グローバル推進マネージャー
埼玉県越谷市出身・越谷新栄中学、大宮東高校、早稲田大学、徳島ヴォルティスなどでプレー。2000年より大宮アルディージャのスタッフとして、チーム主務、強化部、広報などを経て2014年から海外担当に。<http://www.ardija.co.jp>



アジアの子どもたちをサッカーで「笑顔」にしたい！